令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人豊橋文化振興財団
施設名	穂の国とよはし芸術劇場（PLAT）
内定額	10,267　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	ピーピング・トム「トリプティック」上演とオリジナル地域交流プログラム	令和7年10月11日	主ホール
公-02	プラット・レジデンス事業　新作共同制作　小尻健太「Engawa,The Self in Season」プレビュー公演	令和7年11月29・30日	アートスペース
人-01	若手音楽家育成事業	令和7年4月~令和8年3月	アートスペース
人-02	ワークショップファシリテーター・コーディネーター養成プログラム	令和7年6月～令和8年3月	穂の国とよはし芸術劇場
人-03	豊橋アーティスト・イン・レジデンス「ダンス・レジデンス2025」	令和7年4月~令和8年3月	穂の国とよはし芸術劇場
普-01	若手音楽家による豊橋市内の中学校・社会福祉施設でのアウトリーチコンサート	令和7年8月～令和8年2月	豊橋市内中学校等
普-02	プラット親子わくわくプログラム2025	令和7年8月	アートスペース他
普-03	中学生・高校生と創る演劇 ワークショップ＆サマーキャンプ	令和7年5月～8月	アートスペース
普-04	演劇・舞踊ワークショップ＆レクチャー　プログラム	令和7年7月～令和8年3月	創造活動室Aほか

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	45	39	35
	公演事業	24	15	13
	（内、本助成対象事業本数）	0	0	2
	人材養成事業	8	8	7
	（内、本助成対象事業本数）	3	3	3
	普及啓発事業	13	16	15
	（内、本助成対象事業本数）	0	0	4
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください			

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	283	290	324
	ホール名：主ホール　座席数：771	126	136	162
	ホール名：アートスペース　座席数：200	157	154	162
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	53,299	43,894	51,006
	公演事業	18,993	11,037	21,587
	人材養成事業	2,874	2,413	3,049
	普及啓発事業	31,432	30,444	26,370
	共生社会事業			
	その他　内容：	0	0	
	貸館事業入場者・参加者数	133,446	137,643	147,517
	その他　内容：共催事業	2,826	1,003	3,818
	計	189,571	182,540	202,341
開館日数		350	349	350
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））		350	349	350
施設の利用日数		308	296	312
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）		88.0%	84.8%	89.1%

備考	施設の利用率はホール以外の利用があった日も1日と考える。

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	24	57	18,993	15	3	2	2	2		
	共催・提携公演（※2）	3	4	2,826	3						
	貸館公演	143	203	52,759	16	53	18	12	7		37
	計	170	264	74,578							
令和6年度	主催公演（※1）	15	28	11,037	8	3		1	1		2
	共催・提携公演（※2）	2	3	1,003	2						
	貸館公演	131	168	78,625	26	57	16	1	10	1	20
	計	148	199	90,665							
令和7年度	主催公演（※1）	13	39	17,847	8		2	2	1		
	共催・提携公演（※2）	2	5	3,818	2						
	貸館公演	110	146	54,851	18	44	10	3	10	1	24
	計	125	190	76,516							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	ピーピング・トム「トリプティック」上演とオリジナル地域交流プログラム	目標値	500	64.9%	観客の5段階評価の満足度	「とても満足」「満足」85%	「とても満足」「満足」95% （「公演内容」「チケット料金」「舞台の見やすさ」「スタッフの対応」すべての項目での平均満足度を計測）
		実績値	411	53.3%	ワークショップ参加者の5段階評価の満足度	「とても満足」「満足」85%	「とても満足」「満足」97% （「内容」「料金」「講師」「スタッフの対応」すべての項目での平均満足度を計測）
					カンパニーと地元市民団体の交流会に参加した満足度	おおむね高評価を得る	市民団体のメンバーへのヒアリングで新しい出会いになってよかったと高評価を得た。
公-02	プラット・レジデンス事業　新作共同制作　小尻健太「Engawa,The Self in Season」プレビュー公演	目標値	285	71.3%	観客の5段階評価の満足度	「とても満足」「満足」85%	「とても満足」「満足」100% （「公演内容」「チケット料金」「舞台の見やすさ」「スタッフの対応」すべての項目での平均満足度を計測）
		実績値	176	44.0%	ワークショップ参加者の5段階評価の満足度	「とても満足」「満足」85%	「とても満足」「満足」100% （「内容」「料金」「講師」「スタッフの対応」すべての項目での平均満足度を計測）
					オープンスタジオ鑑賞者向けのアンケート調査で「公演を観劇する予定」「公演を観劇しようと思う」の割合	全体の70%	「公演を観劇する予定」「公演を観劇しようと思う」88% （購入済み、購入予定、検討中と回答した人の割合）
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人豊橋文化振興財団
施設名	穂の国とよはし芸術劇場（PLAT）
内定額	10,267　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	ピーピング・トム「トリプティック」上演とオリジナル地域交流プログラム	入場者率は 11.6 ポイント、有料入場者率は 12.4 ポイント目標を下回ったことから広報面への課題が伺えた。一方評価指標に関しては両設定ともに、目標値を 10 ポイント以上うわまわる高評価を得、事業の内容の充実度が高かったことが伺えた。以上のことから一定の目標を達成したと評定した。
公-02	プラット・レジデンス事業　新作共同制作　小尻健太「Engawa,The Self in Season」プレビュー公演	入場者率は 27.3 ポイント、有料入場者率は 46 ポイントと目標を下回った。コンテンポラリーダンスのプレビュー公演という形態の難しさを実感する事となった。また、事業を通しての満足度の指標に関しては、いずれも 15 ポイントを越えた事から、限られた観客や参加者ではあるが、高い満足が伺えた。以上のことから一定の目標を達成したと評定した。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（２）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※１）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
公演事業	①公-01　ピーピング･トム「トリプティック」上演とオリジナル地域交流プログラムにて、海外での優れた舞台芸術鑑賞機会の地域間格差を解消する。 ②公-02　プラット・レジデンス事業　新作共同制作　小尻健太「Engawa,The Self Season」プレビュー公演での、滞在制作アーティスト、スタッフを対象にヒアリングを実施。 アーティスト、スタッフ対象：作品への集中度、劇場職員とのコミュニケーション 劇場担当職員：自身のスキルアップ	①アンケートによる居住地調査を行い、「豊橋」「東三河」「ほか愛知県」の割合が 50%以上 ②ヒアリングでおおむね高評価を得る。	①　76.88% ②　アーティスト・スタッフ対象：2週間にわたり実際の舞台を使ってリハーサルや技術実験ができたことは非常に有意義であった。劇場職員の綿密なコミュニケーションと協力が得られ。作品作りに集中できた。 劇場担当職員：技術面、制作面の両方について、実際の経験を積むことで自身のスキルアップが可能となった。
人材養成事業	①人-01 若手音楽家育成事業の出演オーディション申込人数を調査する。 ②人-02　ワークショップファシリテーター・コーディネーター養成プログラム受講生を対象に、満足度調査を行う。 ③人-03　豊橋アーティスト・イン・レジデンス「ダンス・レジデンス 2025」で滞在制作を行ったアーティストを対象に、滞在制作での目標達成度と満足度を調査する。	①前年度申込数 9 組と同程度以上を目標値とする。 ②アンケートによる調査を行い、講座の内容の満足度で「とても満足」「満足」の割合が 70%以上 ③　アンケートによる調査を行い、「目標達成した」及び「とても満足した」「満足した」が 70%以上	①　12 組 ②　「とても満足した」81.51%、「満足した」16.25％　合計 97.76% ③　目標達成度「目標達成した」80% 満足度「とても満足した」80%

普及啓発事業	①　普-01　若手音楽家による豊橋市内の中学校、社会福祉施設でのアウトリーチコンサートでの鑑賞者アンケートで、「今後もコンサートを聴きたいと思う」の割合を調査する。 ②　ワークショップ・レクチャー等公募事業に関して、定員に対する参加者割合を調査する。	①「ぜひまた聴きたいと思う」「聴きたいとおもう」の割合が60%以上 ②全事業で定員に対し参加者数70%以上	①　「ぜひまた聴きたいと思う」60%、「聴きたいと思う」39%　合計99% ②　73.4%
共生社会事業			

（※３）・（※４）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	すべての目標を達成した。 公-01 ピーピング・トム「トリプティック」について、アンケートによる居住地調査にて目標値を達成したことから、地方でもトップクラスの海外作品を見たいという地域住民の期待に応えることができた。 海外招聘作品の上演が困難になりつつある昨今の情勢の中で、国内の劇場と連携し招聘することで、圏域場内外に当劇場の存在をアピールした。 公-02　プラット・レジデンス事業　新作共同制作　小尻健太『Engawa,The Self in Season』について、過去の豊橋での滞在制作経験をさらに発展する形で滞在制作・リハーサル・本番を行った。滞在制作アーティストやスタッフ対象のヒアリング調査で滞在制作の満足度を調査したところ、創作環境、滞在環境、劇場スタッフとの綿密なコミュニケーションが図れたことによる満足度が高かった。その結果、質の高い舞台作品の創作と上演に繋がったと考える。

人材養成事業	
自己評価	すべての目標を達成した。 人-01　若手音楽家育成事業のオーディション申込組数の目標 9 組を上回る 12 組となった。また、過去の出演者を起用する「ステップアップコンサート」や普-01「若手音楽家による豊橋市内の中学校、社会福祉施設でのアウトリーチコンサート」を実施し、一度起用した若手音楽家の活動機会を継続的に提供することにも取り組んでおり、10 年以上継続し、地域の若手音楽家の育成に寄与している。 人-02　ワークショップファシリテーター・コーディネーター養成プログラム受講生対象のアンケートで、参加しての満足度として非常に高い満足度を達成した。ニーズに合った事業を展開し、また期待に応えた内容であると考える。 人-03　豊橋アーティスト・イン・レジデンス「ダンス・レジデンス 2025」で滞在制作したアーティストの目標達成度、満足度共に 80%となった要因としては、アーティストが期待する創作環境が整うよう、滞在制作前に劇場スタッフと綿密に事前調整を行ったことで滞在期間中の内容をより充実させるよう、劇場とアーティストの密なコミュニケーションを図った結果と考える。

普及啓発事業	
自己評価	すべての目標を達成した。 普-01　「若手音楽家による豊橋市内の中学校、社会福祉施設でのアウトリーチコンサート」の鑑賞者の 99%が再度コンサートを聴きたいと思う結果となった。中学生や社会福祉施設の利用者は、様々な理由からコンサートホールに出向くことが難しい場合がありうるため、アウトリーチコンサートで上質な音楽を届けることで、その期待に応えている事業であるといえる。 普-02　穂の国とよはし芸術劇場が実施したワークショップ・公募事業の定員に対する参加者割合は目標を達成した。概ね平均値の結果ではあるが、ニーズが少ないから実施しないのではなく、ニーズの高いものも実施しつつ、新たな興味関心を広げるような新規事業にも積極的に取り組み、舞台芸術に興味関心を持つ層の裾野の拡大をすることは必要と考えており、より幅広い事業に取り組んだ。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
①公-01　ピーピング・トムの地域交流プログラム参加者の地元伝統芸能団体とカンパニーの交流会参加人数及び参加後の感想をヒアリング調査する。	①　参加人数 15 人以上､「参加してよかった」「新しいことを知った」等おおむね高評価を得る。	②　参加人数 8 人。「新しい出会いになってよかった」と高評価を得た。

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	一部目標を達成することができなかった。 ピーピング・トムの地域交流プログラム参加者の地元伝統芸能団体とカンパニーの交流会における伝統芸能団体側の参加人数が目標に到達しなかった要因として、交流会が平日午前中の開催となったため、参加できるメンバーに限りがあったためであるが、参加した地元伝統芸能団体及びピーピング・トムメンバー双方にとって新しい出会いや気づきの機会を提供することができた。海外のカンパニーと地元団体の交流会はこれまで実現したことが無かったが、今回獲得したノウハウを今後も活用していく。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・（文化拠点）地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・（地域連携）地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・（児童生徒への機会提供）次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	貸館利用者対象のアンケート調査にて高評価を得る
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
①人-01　若手音楽家育成事業「ワンコインコンサート」の来場者を対象にアンケート調査を行い、居住地が「豊橋市」「東三河地域」の割合。 ②人-02　2014 年度－2025 年度に実施したワークショップファシリテーター・コーディネーター養成プログラムを受講した修了生の劇場事業参加人数 ③普-03　「中学生・高校生と創る演劇　ワークショップ＆サマーキャンプ」に参加した高校生を対象に、参加後に実施するアンケート調査において、「参加しての満足度」を調査する。 ④穂の国とよはし芸術劇場の会員制度「プラットフレンズ」の会員数。 ⑤貸館利用者対象のアンケート調査にて「施設の使い心地に関する総合的な満足度」を調査する。 ⑥普-02　「プラット親子わくわくプログラム 2025」で実施する子ども向け事業の参加率を調査する。 ⑦普-01 若手音楽家による豊橋市内の中学生・社会福祉施設でのアウトリーチコンサートの実施回数	①アンケート回答者のうち、「豊橋市内」「東三河地域」の回答率が 75%以上 ②のべ 15 名以上 ③アンケートで高評価を得る（「とても満足」「満足」の回答が 75%以上） ④「プラットフレンズ」令和 7 年度目標会員数：49,245 人（令和 6 年度会員 46.900 人の 5%増） ⑤アンケートで高評価を得る（「施設の使い心地に関する総合的な満足度」として「とても満足」「満足」の回答が 80%以上） ⑥参加率が募集定員の 70%以上 ⑦実施回数 12 回以上	①「豊橋市内」61.67%、「東三河地域」17.56%　合計　79.23% ③　20 人 ③「とても満足」69.37％「満足」16.56%　合計　85.93% ④　50,866 人（令和 7 年度 3,966 人増。増加率 8,46%） ⑤「とても満足」47.79%「まあ満足」41.59%　合計 89.38% ⑥募集定員に対する参加率 75% ⑦実施回数：17 回

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	すべての目標を達成できた。 特に参加者や鑑賞者、利用者の満足度調査についてはいずれも高い数値を達成しており、期待に応えるとともに期待以上の効果をもたらしているものと考える。 各評価指標の結果より、当劇場が地域文化拠点機能を果たしていると考える。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
①子育て世代に向けた事業における「こどもチケット」入場者数及び小学生以下の子どもの参加人数	①　150 人以上	①　411 人
②主催事業における障がい者対応の鑑賞サポート実施回数（字幕タブレット、舞台説明会、台本貸出など）	②　令和 6 年度実績の 19 回以上	②　23 回
③主催事業における託児の提供事業数	⑤　令和 6 年度実績の 13 回以上	③　16 回

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	すべての目標を達成できた。 特に子どもチケットの利用や小学生以下の参加者が目標値を大きく上回っており、当初計画以上の成果となった。 また、主催事業における鑑賞サポート実施回数は目標値を上回っており、様々な事業において、幅広く多様な観客層への訴求に繋がったといえる。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	劇場がアーティストに対し、アクセシビリティを意識した舞台作りを働きかけることに努めており、多様な人が鑑賞・参加できることに取り組んでいる。

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
ビジョン①「すべての人が鑑賞できる実演芸術を創造し、地域から全国へ発信する。」の実現に向け、招聘事業に対してアクセシビリティ対応を喚起、伴奏指導し、鑑賞サポートの実施を実現する。	穂の国とよはし芸術劇場の上演・発表において鑑賞サポートを想定していなかった団体、２団体以上の対応を実現する。	４団体

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	目標を達成できた。 創造団体にとって鑑賞サポートの導入は困難な部分もあるが、今回劇場と創造団体側が協力することで実現が可能となることがわかったことから、今後も劇場から積極的にアプローチをして創造団体に働きかけを行い、鑑賞サポートの取組を増やすことを目指す。

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

2017 年より実施している豊橋アーティスト・イン・レジデンス「ダンス・レジデンス」での滞在制作で構築した劇場とアーティストの関係性を踏まえ、ダンス公演の新作共同制作を実施、日本初演で上演した。また、本作は豊橋での公演の後、横浜でも上演された。豊橋での滞在制作を経た創作活動がアーティストのキャリア形成と国際的な活動展開に寄与している。
「ダンス・レジデンス」での滞在制作を経て創作された作品が国内外で上演される際には、「穂の国とよはし芸術劇場 PLAT」のクレジットをチラシ等の広報物にて表記しており、国内外に劇場名をアピールしている。

地域の音楽人材育成を目的としている「若手音楽家育成事業」に於いて、来場者から高い評価を得たアーティストが、主ホールでのステップアップ公演を実施するに至った。小規模ワンコインから大規模へと段階的に成長する機会を提供する仕組みが機能し、アーティストの意欲向上や新たな作品の構築へと繋がっている。また、令和 7 年度より豊橋市役所と連携し、豊橋市内の中学生を対象としたアウトリーチコンサートも開始した。経済的、地理的事情で劇場に足を運ぶことが困難な若年層にプロの演奏を間近で聞く体験を提供するとともに、若手音楽家の演奏機会を拡充している。
これにより、単発ではない持続性の高い地域に根ざしたクリエイター支援を実現しており、この仕組みは他の劇場にとっても人材育成と普及啓発、地域とを有機的に連動させた好事例である。

（２）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※１）・（※２）…R７年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈（ア）～（エ）〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※１）	はい	はい
目標(値)（※２）		
実績(値)	・劇場・音楽堂等機能強化推進事業 ・一般財団法人地域創造 ・公益財団法人日本フィランソロピック財団 ・民間企業による協賛金	・穂の国とよはし芸術劇場広報誌「プラットニュース」年間４回発行 ・財団維持会員対象の先行販売の実施 ・外部情報誌への定期的広告出稿
団体の自己評価	公的助成金の獲得と地元民間企業からの協賛金獲得のほか、財団維持会員制度も充実させており、積極的に獲得に務めた。	「プラットニュース」の定期的な発行と定期的な会員向けのチラシ発送、先行販売を実施しており、会員数も増加している。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※１）	はい	はい
目標(値)（※２）		
実績(値)	・全国公立文化施設協会 ・愛知県公立文化施設協議会 ・劇場・音楽堂等連絡協議会 ・ネットワーク事業等での連携	・豊橋市担当課との月例定例会議 ・劇場主催事業、報告会等への参加 ・議会、他自治体等の施設視察対応 ・文化芸術振興計画策定
団体の自己評価	各協会事業や、ネットワーク等ツアーを通じての交流、情報共有、勉強会等を通じて交流を実施している。	月例定例を中心に、実際の事業へ参加してもらうことで、理解を得ている。また連携しての視察対応、市の振興計画へ専門人材として参画している。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	はい	はい
目標(値)（※2）		
実績(値)	芸術監督、芸術文化プロデューサー、事業制作チーフ等が配置されている。	・館長 ・芸術文化プロデューサー
団体の自己評価	それぞれ役割分担をしながら、有機的に連携している。	豊橋市の OB と専門人材が連携し、年度を超えた大規模修繕の指摘や計画策定。各種運営を実施している。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	はい	はい
目標(値)（※2）		
実績(値)	・事業制作部として専門人材 12 名 ・各種研修の実施 ・専門的研修への参加	芸術監督、館長、芸術文化プロデューサーの配置
団体の自己評価	窓口業務と兼務ではあるが、専門人材の確保がされている。OJT、OFFJT の体勢が取れている。	それぞれの専門性を活かし、課題に対して取り組んでいる。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	はい	はい
目標(値)（※2）		
実績(値)	20 代から 60 代の常勤職員	事業制作部に於いて、リーダー以上の男女比は男性 60%　女性 40%
団体の自己評価	経験者、新卒含め人材確保を実施している。	引き続き大きくバランスが崩れないように注力していく。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	はい	はい
目標(値)（※2）		
実績(値)	財団規則等改定を実施している。	コンプライアンス関して財団規則として明文化している。
団体の自己評価	法令に則り財団規則を改定。男女ともに育休の取得を実施。産休等中長期的休業の場合は人材派遣など含め対応している。	セキュリティ研修等は簡易な形態につき、今後専門的研修を検討する。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	財団職員及び創作現場参加者を対象にリスペクトトレーニング／ハラスメント防止講習を実施している	はい
目標(値)（※2）		
実績(値)	アサーティブコミュニケーションを通じたハラスメント防止講習を事業制作部全員が受講。	業務委託として契約書を交わしている。
団体の自己評価	座学だけではなく、ワークショップ形式で実施し、実感の伴う研修として実施。定期的に開催をしていく。	引き続き業務委託の際は契約を交わしていく。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
各評価観点とこれまでの実績から明らかになった課題を踏まえ、事業の目的や方向性を見直しながら、実演芸術の魅力を劇場として持続的に発信していく。 また、鑑賞機会の提供だけにとどまらず、人材育成、普及啓発、共生を軸とした多様な取組を通じて地域へ還元し、豊橋市を中心とした広域的な文化芸術振興へとつなげる。そのために、財団全体で継続的に取り組める推進体制を構築・強化していく。

備考